



# 新鶴見小

江ヶ崎町2番1号 ☎583-8915

## 地球温暖化を改めて感じたこの夏

校長 佐藤 朗子

夏休みを終え、一段とたくましくなった子どもたちに、久しぶりに会うことができました。子どもたちは様々な体験をしたり、新しいことを学んだりして、貴重な時間を過ごすことができたと思います。

今年は、本当に暑い夏でした。日中は体を動かすのに危険を感じる日もありました。私も、特に予定がない日は、日が暮れるまで外に出ず、家の中でできることをして過ごしていました。この横浜に限らず、全国的にも気温が高く、涼しいはずの北海道で最高気温が35度を記録したことを気象情報で知り、びっくりしました。また、動きが遅く、沖縄・九州への影響が長引いた台風6号、お盆時期に上陸し、交通機関にも大きな影響をもたらした台風7号など、2つの大きな台風が来ました。旅行・帰省中に大変な思いをされた方もいらしたのではないのでしょうか。「線状降水帯」や「ゲリラ豪雨」といった言葉を聞くことが増え、私が子どもの頃に過ごしてきた夏とは、大きく変わってきています。

世界に目を向けると、カナダやハワイ・マウイ島などで起こっている山火事のニュースがありました。炎が迫って来る恐怖は、どれほどだったでしょうか。台風や山火事で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

山火事の原因は様々ですが、大きな被害が出てしまっていることは、地球温暖化による気候変動の影響もあるとのことでした。小学生の子どもたちも、環境教育の中で、「地球温暖化」について学んでいます。総合的な学習の時間に、「カーボン・ニュートラル（自分が出す炭素を実質的にゼロにすること）」に取り組んだクラスもありました。子どもたちには、学んだことと、今現実に起こっていることを結びつけて考え、これからの行動に生かして行ってほしいと思います。そして、私たち大人も環境危機について真剣に考え、手本となる行動をしていく責任があると感じます。

今から16年前、私が5年生の担任をしていたとき、地球温暖化について学ぶ資料として、元アメリカ副大統領のアル・ゴア氏の著書「不都合な真実」を購入しました。ドキュメンタリー映画の内容が書籍化されたもので、写真や図を見ているだけでも、地球の温暖化について感じるができます。本の最後には、地球のために私たちができることが書かれていました。ハイブリッド車が増えたり、電気がLED化されたり、マイバッグやマイボトルを持ち歩くようになったり、学校屋上に太陽光パネルが設置されたりと、この16年の間に、私たちの生活にも変化がありました。けれども、地球温暖化に歯止めはかかっていません。私たちとつながる未来の人たちのために、学校でも取り組めることを子どもたちと一緒に考えていきたいです。

まだしばらく暑い日が続きそうです。8月29日に予定されていた矢向小学校との水泳交流会は、暑さのために中止となってしまいました。交流会を楽しみにしていた5、6年生45名の子どもたちには、残念な思いをさせてしまいました。これから10月のスポーツフェスティバルに向けての活動も始まります。体育の授業、校外学習、休み時間の活動については特に、WBGT（暑さ指数）をこまめに確認し、子どもたちの体調をよく見ながら慎重に進めてまいります。これからも保護者の皆様のご協力をお願いいたします。